



～「平成の滑稽」より 立石 朋

### ショベルカーうまさうに噛む春の土

冬の間、工事現場も冬眠状態だったと思われる、だから久しぶりの土はうまい。それを 中七でうまそうに噛む・・・として「はっと」驚かせる。

こういう擬人化は作者が重機になりきったから出来た。

なんとも柔らかな表現に拍手です。

～「平成の滑稽」より 中村遠路

### 塔の脚くすぐつてゐる青田

鉄塔と青田。ダブルの擬人化ですね。

鉄塔はガリバー、青田はいたずら坊主でしょうか。

のどかな田園風景もこんなふうに感じると楽しい。

高圧線が揺れて鉄塔が身を振るというわけですね。

～「平成の滑稽」より 越前春生

### 煤逃げの仕掛どころを誤りぬ

煤逃げのタイミングを誤ると  
一日を下僕の子重労働の憂目に遭うことになる。  
煤逃げには、逃げる側だけでなく、邪魔になるからと  
逃がす立場も含まれているのだから、煤逃げ未遂は  
まだ使える存在として認識されているということ  
喜んでいいのだが・・・。